しまね 労福協ニュース No.415

発　　行／一般社団法人 島根県労働者福祉協議会
発 行 人／金坂　隆
〒690−0007　松江市御手船場町 557−7
TEL 0852-23-3302　FAX 0852-23-3303
ホームページアドレス：http://shimane.rofuku.net/
E−メール：rofuku@gaea.ocn.ne.jp
発行月（6・10・1・3月発行）

「福祉事業団体の利用拡大キャンペーン」（10月～12月）
ろうきん・こくみん共済coopの一層の基盤拡大を図ろう!!

労働者福祉事業団体の基盤強化の取り組みについて、第９回定期総会において、昨年に引き続き労福協運動の基軸として最優先で取り組むべき事項に位置付けたことに基づき、以下の取り組みを展開します。

①中国労金の「家計見直し運動」、こくみん共済coopの「いいね！の輪をひろげよう！」キャンペーン、「７歳の交通安全プロジェクト」の具体的推進について、10月から12月を「特別強化月間」と位置付け、事業団体と協議のうえ設定した以下の地区別の目標達成に向けて、集中的に取り組みます。②地区労福協・各部会役員合同研修会を、8月～12月の期間、役員等の交代があった全地区を対象に開催します。内容は、労働者自主福祉運動が生まれた歴史的背景や経過、今日的な意義を再確認することを通じて、地区労福協と各部会ならびに会員・協力団体が、主体的に労金・労済運動の推進と運営に携わることのできる環境整備を図ります。③事業団体職員、職員労働組合の研修会に講師派遣します。④「2020全国福祉強化キャンペーン」を取り組みます。

＜全国共通テーマ＞

◇労働者福祉運動で‘共助の輪’を地域に広げよう！
◇生活・就労支援を地域のネットワークで支えよう！
“今こそ、労福協の力を”

＜全国統一行動＞

（1）地方自治体への政策･制度要請（緊急の要請行動）
① 通常要請
② コロナ禍対応に関する緊急要請
（2）相談・情宣活動の充実、強化
① 奨学金に関する全国一斉相談
② 事業団体（ろうきん・こくみん共済coop）との連携
③ 中央労福協が行う取り組みの有効活用
（3）生活･就労応援基金（愛称:ろうふくエール基金）と連動した取り組み

■ 福祉事業団体利用拡大キャンペーン取り組み目標
（期間 2020年10月～12月）

1.各地区労福協「中国労金　家計の見直し運動」目標件数

地区名	① 他金融機関等ローン借換え目標件数（有担保・無担保）	② 個人型確定拠出金年金（イデコ）目標件数	③ 会員への提案活動目標件数
安来	12	23	3
松江	49	70	5
隠岐	10	14	1
雲南	6	4	2
出雲	35	21	9
大田	17	50	3
江津	3	10	3
邑智	3	5	3
浜田	3	10	5
益田	5	3	4
合計	143	210	38

1．各地区労福協こくみん共済 coop「いいね！の輪をひろげよう！」キャンペーン・「７歳の交通安全プロジェクト」取り組み目標件数

地区名	①「いいね!の輪をひろげよう!」キャンペーン目標件数	②「7歳の交通安全プロジェクト」目標件数
安来	40	95
松江	115	248
隠岐	10	7
雲南	20	15
出雲	80	80
大田	30	10
江津	15	20
邑智	10	0
浜田	40	35
益田	40	20
合計	400	530

地区労福協事務局長会議開催

８月７日（金）、労働会館401号において16名の参加の下、地区労福協事務局長会議を開催しました。

県労福協成相理事長

「あったか元気便」須田事務局長

冒頭、成相理事長の挨拶の後、「なないろ食堂（子ども食堂）＆フードバンクしまね『あったか元気便』」の須田敬一事務局長より、①ＪＡ、生協、社協等の連携を模索する学びの場、②子供の貧困問題、③学びを通した実践活動～なないろ食堂（子ども食堂）、フードバンクしまね「あったか元気便」、④何を目指すか、について講演をいただきました。

フードバンクしまね「あったか元気便」は、県下では松江地区のみで活動されていますが、今後各地区においても活動が拡がることが想定されます。労福協としても積極的に関わっていきたいと考えています。

その後休憩をはさみ、

・地区労福協における「共助拡大」の取り組みと、活動領域の拡大について（島根県労福協）
・労金運動の推進について（中国労金島根県営業本部）
・労済運動の推進について（こくみん共済 coop 島根推進本部）

の３点が提起され、意見交換を経て終了しました。各地区の事務局長からは「活動助成金の支給について、コロナ禍で今年度の高齢者福祉活動等の実施が見込めず、地区独自活動も例年通りの開催は困難と思われる。地区労福協の財政も苦しい中で県労福協からの助成のあり方を見直せないか。」「各地区から事務局長が出席しているのでそれぞれの地区の活動内容を聞いたり、地区活動の悩みを話してアドバイスをいただきたいと思う。十分な意見交換の時間を確保していただきたい。」との意見・要望が出されました。

島根県への2021年度県政策・制度要請実施

９月25日（金）、県庁副知事室において2021年度の政策・制度要請を行いました。

県労福協からは、成相理事長（連合島根会長）、仲田副理事長（中国労働金庫島根県営業本部長）、原田副理事長（こくみん共済 coop 島根推進本部長）、福間専務理事の４名が参加し、県からは、松尾副知事、太田商工労働部長、半場女性活躍推進統括監に対応いただきました。

冒頭、成相理事長より「労福協活動、とりわけくらしサポートセンター島根の相談事業等への補助や就労支援事業の委託等、日頃のご支援に感謝申しあげる。コロナの影響で有効求人倍率も低下をしており、真価が問われるところであると認識している。今年度の要請はコロナ禍のもと就労支援事業の継続等を中心に項目を絞っており、例年より時期を前倒しした。いずれの項目も勤労県民の福祉向上に欠かせない内容であり、次年度予算策定等においてお応えいただきたい。」と挨拶しました。続いて福間専務が、要請事項を説明し、なかでも、就労支援事業の次年度以降の継続の他、格差・貧困の拡大と行き過ぎた自己責任論の蔓延で、本当に困っている人が「助けて」と言えない社会になっていること、コロナ禍による親の家計の急変やアルバイト先解雇等により学費が払えず、中途退学を考える学生が２割に上ること等への対策を求めるとともに、コロナ感染者やその家族、医療従事者等へのいわれなき中傷や差別等への県としての対応を評価し、さらなる啓発を求めました。

要請を受けて松尾副知事が、「労福協の皆さんは、困っておられる方の問題解決に寄り添って対応いただくなど、他者に優しい組織だと認識している。くらしサポートセンター島根の相談事業や、就労支援事業での協力に感謝申しあげる。コロナの問題では、医療従事者や新型コロナウイルス感染者への思いやりや寄り添いが求められるが、誹謗・中傷等を耳にすることは残念で、引き続き啓発に努めたい。要請には真摯に対応するとともに、期日までに書面で回答する。」と応じました。

島根県労働者共済生活協同組合　第６４回通常総代会
こくみん共済 coop〈全労済〉島根推進本部第３回組合員代表者会議　を開催

こくみん共済 coop NEWS

原田理事長による挨拶

去る7月30日（木）に「島根県労働者共済生活協同組合第64回通常総代会」ならびに「こくみん共済 coop＜全労済＞島根推進本部第３回組合員代表者会議」が、労働会館にて開催されました。

今年は新型コロナウィルス拡大の影響から総代数100名の内、本人出席は19名、委任出席は１名に留まりましたが、書面議決書提出76名により、合計96名の総代出席となりました。

昨年制度改定された「こくみん共済」「個人長期生命共済」の２年目の取り組みや、年間を通して子どもの成長と安全を応援する「７才の交通安全プロジェクト（横断旗寄贈）」「こどもの成長応援プロジェクト（縄跳び寄贈）」の取り組み、「保障点検」「健康点検」を起点とした推進展開等が確認され、お役立ち発想による推進を強化し、組合員一人一人と寄り添うことを目的とした2020年度活動計画が承認されました。

また、本年は役員改選期ではありませんが、６名の理事、１名の監事の欠員が生じたため、補欠選挙が行われ下記表の６名の当選が確認されました。

○補欠選挙結果（敬称略）

役　職	氏　　名	選挙区	出　　身
理　事	丸山　　武	全　県	交通労連(一畑電鉄労働組合)
〃	木下　幹也	〃	自治労(自治労島根県本部)
〃	小松原直樹	〃	電機連合(日立金属労働組合安来支部)
〃	錦織　泰治	〃	JP労組島根連絡協議会
〃	佐々木康雄	松　江	電機連合(PIDU キャパシタ松江支部)
〃	柳原　哲馬	大　田	自治労(大田市職員連合労働組合)
監事	倉橋　正樹	全　県	UA ゼンセン(ダイワボウ労働組合出雲支部)

働く仲間のたすけあいから、地域の仲間のたすけあいへ！
『いいね！の輪をひろげよう！キャンペーン』

10月～12月は島根県労福協の「福祉事業団体利用拡大キャンペーン」に連動し、職場以外にも「たすけあい」の輪を広げる活動として「ご紹介カード」によるお友達等の紹介キャンペーンを展開し、労働組合に所属していない生活者の方にこくみん共済 coop を広めていきます。

「確かな未来」が会社を変える。
中退共 CHU-TAI-KYO で退職金。
「中退共」は中小企業が加入しやすい国の退職金制度です。

❶国の制度だから安全・安心！
さらに掛金の一部を国が助成します。
❷社外積立でラクラク管理！
管理や運用の手間がかかりません。
❸掛金は全額非課税でオトク！
節税に加え、手数料もかかりません。

● パートタイマーさんもご加入いただけます。
● 他の退職金・企業年金制度等とのポータビリティも可能です。
詳しくはホームページをご覧ください
中退共 検索
http://chutaikyo.taisyokukin.go.jp/

独立行政法人勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部　TEL(03)6907-1234　FAX(03)5955-8211

＜中国ろうきん＞ＳＤＧｓの取組みの一環として、「奨学金借換専用ローン」の取扱開始！！！

中国ろうきんでは、2020年９月１日より**「奨学金の返済見直しへの対応を進め、組合員の可処分所得向上に寄与する取組みを展開し、＜ろうきん＞が勤労者のセーフティネットとして更なる役割発揮をめざすこと」**を目的に、**「奨学金借換専用ローン」**の取扱いを開始しました。

今回は、本ローンの導入経緯と＜ろうきん＞の推進スタンスについてお伝えします。

＜導入経緯＞

教育費の高騰や家計収入の減少を受けて奨学金の利用者数が拡大しており、その一方で卒業後の不安定雇用や低賃金労働を理由とした返済困窮者が多数生じるなど、大きな社会問題となっていました。

これを受け、中央労福協では2015年６月10日に**「“奨学金”問題対策委員会」**を設置し、各団体等と奨学金問題に対する取組みの企画・具体化を進める一方で、2018年８月奨学金の利用実態や問題点を把握するためのアンケート調査を先行して実施するなど、奨学金に係る実態を各団体へ情報提供を行ってきました。

＜ろうきん＞では、低利な奨学金借換専用ローンの取扱いを通じ、業態として社会的課題である奨学金に関する諸問題の解決に向けて、**「労働者福祉協議会」や「労働組合」などと連携した取組み**を展開しています。

＜中国ろうきんの推進スタンス＞

単に“無担保新規実績の伸長”ではなく、「奨学金の返済額や返済期間を見直したい」、「子どもの奨学金を借換えしてあげたい」といったご本人や親御さんのご意向に対して、「家計の見直し運動」を通じてお応えしていきます。

〇商品概要

融資限度額：1,000万円　　返済期間：20年以内

融資金利（保証料込）：固定　0.9～1.5%　⇒会員：固定 0.9%/未組織：固定 1.5%

奨学金相談会のご案内

労福協は、11月６日（金）、奨学金の返済について電話・面談での相談会を実施いたします。ひとりで悩まないでお気軽にご相談ください。

（面談をご希望の方は事前に電話にてご予約をお願いします）

（相談日以外の日でも相談はできます）

日時：2020年11月６日（金）　10：00～16：00

会場：くらしサポートセンター島根

松江市御手船場町557－7　労働会館３階

電話：フリーダイヤル　0120－154－052

（月～金　10：00～16：00）

相談はフリーダイヤルにお電話ください。